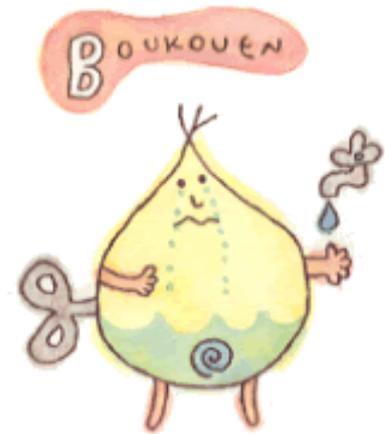


# 健康おまかせ隊

## 膀胱炎

～こんなサインはありませか～

- 何度もトイレに行きたくなる
- おしっこを出し切れしていない気がする
- おしっこをしているときやしたあとに痛みがする
- 白いモヤモヤが浮いている
- 血が混じる
- ★ どれか当てはまるものがあつたら、はずかしがらずに受診しましょう！



**膀胱炎**（ぼうこうえん）は膀胱に起こる炎症です。**急性膀胱炎**と**慢性膀胱炎**があります。**急性膀胱炎**は細菌性の感染症で、10代後半から20～30代の女性に多く発症します。女性は外尿道口が膣の付近に開口して汚染されやすいうえに、尿道が男性と比較して短いため細菌が膀胱内に侵入しやすく、全体として女性の頻度が高くなります。

一方、**慢性膀胱炎**は、あまり自覚症状が強くなく、急性膀胱炎の慢性化のほか、膀胱機能が低下している場合や**前立腺肥大症**などの病気が原因で発症することがあります。また、**非細菌性慢性膀胱炎**（間質性膀胱炎）もあります。

### 誘因

- ▶ 排尿を我慢しすぎる。
- ▶ 腰や下腹部を冷やして頻尿になり、膀胱を酷使したとき。
- ▶ 下痢、生理などで外陰部が不潔になったとき。
- ▶ 性交渉のあと排尿せずに長時間すごしたとき。
- ▶ 風邪などで体調をくずし、全体の免疫力が低下したとき。

### 種類

#### 細菌性膀胱炎

- ・ 大腸菌などで発生。抗生剤・抗菌剤がよく効く。放置するとたまに腎盂炎に拡大することがあります。
- ・ 排尿の終わりに血尿が見られる事もあります。
- ・ 再発を短期に繰り返す場合は、残尿、尿道憩室などがその原因になることがあります。

#### 無菌性膀胱炎

- ・ 抗生剤などに効かず、副腎皮質ホルモンに反応する事があります。膀胱鏡にて特徴的所見をえられることがあります。
- ・ 結核性膀胱炎もあり、腎臓、尿管の検査も必要になることもあります。

#### 男性の膀胱炎

- ・ 小児にもみられる、無菌性膀胱炎の場合が多いです。
- ・ 細菌性の場合、前立腺炎によってひきおこされた膀胱炎の場合もある。膀胱炎様症状とともに血尿を伴うこともあります。
- ・ 男性の膀胱炎には膀胱癌などがときにあります。

#### 神経性頻尿

- ・ 頻尿、残尿感はあるが、痛みはなく、尿も正常。
- ・ 精神的不安定で、下腹部に違和感が発生しやすい。
- ・ 心身症、うつ状態、ストレス、環境の変化
- ・ 更年期の交感神経の不安定
- ・ 冷え性などの体質



## 間質性膀胱炎

原因のよくわからない炎症が膀胱に起こり、そのためにトイレが近い、トイレに行ってもすっきりしない、膀胱や下腹部が痛いなどの症状が現れる病気です。年齢的には40歳以上が多いですが、若い人や子どもにもみられます。性別では女性に多い病気です。欧米に多いといわれてきましたが、わが国でもけっして少なくないことが最近ではわかってきました。

原因としては、[1]膀胱の内側をおおっている細胞に異常がある、[2]アレルギー反応が膀胱に起こっている、[3]尿の中に毒性のある物質がまじっている、[4]膀胱の血液の循環が悪いなどがあげられています。しかし、決め手になるような原因は見つかっていません。

大きな特徴は、症状がひどくても検査ではほとんど異常がみられないことです。また、最近までは泌尿器科医の中でもよく知られていない病気でした。そのため、診断までに時間がかかっていることが多いようです。治療も特殊であり、専門医を受診することが勧められます。

## 検査

膀胱炎の診断は話だけでも見当がつきますが、一般的には尿検査と採取した細菌の培養検査で確定診断を行います。

### 尿検査

尿検査では肉眼的な尿の観察に加え、尿検査用のテストテープを用いて尿の混濁、血尿の有無などを検査。さらに顕微鏡検査で、白血球や血尿、細菌の有無や程度を確認します。診断結果は当日分かります。

採尿時は、特に女性は尿道周囲にある膣からの分泌物などが混じりやすいので、出始めの尿を捨ててその後の中間尿を採取して検査に用いることが大切です。

### 細菌の培養検査

原因となった菌を確定するために行う細菌の培養検査。併せて細菌にどんな抗生物質が効くかを確かめる感受性試験を行います。結果が出るまで数日かかります。

#### 中間尿の採り方

1. 最初にトイレットペーパーで陰部を軽く拭き、尿を少し出す。
2. 続いて出てくる尿を、カップで採る（全部は採らない）。
3. 残った尿を出し切る。

## 治療の方法

- ・ ほとんどの膀胱炎は細菌感染症なので、抗菌薬を使用します。経口抗菌薬を3日間ほど内服します。内服を開始して1日程度で、症状は劇的に改善します。症状消失を目安にして薬を中止すると、また発生しやすいので注意しましょう。
- ・ 頻尿や排尿痛のために排尿することを嫌がり、水分をあまり摂取しない患者さんがいますが、膀胱内の細菌を洗い流すために尿量を増やす必要があるため、水分を十分に摂取することが大切です。

### 膀胱炎に気づいたらどうする？

**急性膀胱炎**の治療薬は、一般の市販薬として薬局でも購入できますが、最近、抗菌薬が効きにくい耐性菌(たいせいきん)が増加しています。

また、尿路に膀胱炎以外の病気が潜んでいることもあるため、病院を受診することをすすめます。

再発予防には、水分補給と排尿を我慢しないことが有効とされています。繰り返し再発する場合は、泌尿器科専門医の診断が必要です。

